

今年もやります！「共通金券プレゼントセール」

東海村商工会では、「買って使って支えよう みんなで 育む 東海村」を合言葉に、「共通金券プレゼントセール事業」を実施します。村内の商業・飲食・サービス店(76店舗で実施)で、500円お買い上げごとに1ポイントを差し上げます。10ポイントたまると「東海村おすすめセクション」や各実施店で使える共通金券が当たる抽選に応募できます。今回は、東海村が来年、村制70周年を迎えることを記念して「東海村70周年を迎えるde賞」をご用意しています。村内の実施店で買い物をしてポイントを積み、ぜひご応募ください。

期間▼7月1日(月)～12月31日(火)

実施店▼「共通金券プレゼントセール」の掲示(のぼり旗や店頭ポスター)のある店舗

抽選月▼8月から令和7年1月まで(毎月1回抽選、全6回)※当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

内容▼**特別賞**…東海村おすすめセクション(1本) ▼**特賞**…共通金券3万円分(1本) ▼**1等**…共通金券1万円分(1本) ▼**2等**…共通金券3,000円分(3本) ▼**3等**…共通金券1,000円分(85本)

▽**東海村70周年を迎えるde賞**

…共通金券1万7,000円分(3本)※東海村おすすめセクションは、村内で作られる魅力ある「おいしい」贈り物です。詳細は東海村観光協会ホームページをご覧ください。

その他▼共通金券は東海村商工会で販売しています。贈答用などにぜひご利用ください。

問い合わせ▼東海村商工会(☎282-3238)



▲HPIはこちら

をご覧ください。



希望に満ちた青年団

ふるさと歴史

～歴史を再発見～

歴史と未来の交流館学芸員

高増 慧

江戸時代後半、日本各地で始まった若者組。祭礼運営や若者・少年の友好、教育を担ったとされています。東海村では日露戦争後、明治38(1905)年に各地で青年団が生まれ、大正4(1915)年に石神村として青年団がまとまりました。外宿・内宿・竹瓦・亀下・舟石川の支部の団員は合わせて200人以上でした。活動は、サツマイモ増産など農業研究発表や講演会、運動会、盆踊り大会のほか、勤勉な国民を目指す政策の影響で縄や俵の製作、開墾作業、道路や水路の修繕、学校・日立鉱山での土木作業を行っていました。戦争期には、軍への金品献上や出兵・葬儀に関わりました。



昭和56年活動の様子
交通安全看板の作成・設置

戦後、民主政になると、政治や結婚観など言論が活発になりました。昭和30(1955)年、村松村と石神村が合併して東海村となった後は東海村連合青年団ができ、各大字から代表者を出して活動をしていましたが、その後、昭和45(1970)年ごろには消滅しました。

昨年年度閉会した東海村青年会は、成人式の実行委員会が発展して、昭和53(1978)年に、当時青年会長だった近藤久輝さんが創立しました。映画会を催したり、「やったん祭」を主催したりしました。平成3(1991)年度に休会状態になりましたが、当時役場職員だった澤畑佳夫さんが東海村教育委員会の青少年担当に復帰し、徐々にメンバーを増やしていきました。ナイトハイイクの主催や、やったん祭実行委員会の運営、子ども会や高校生会のサポートなどを行いました。メンバーの多くは、高校生会出身者でした。高校生会の文化を引き継ぎ、ニツクネームで呼び合い、結婚した人たちがいるほど仲良くなりました。

青年会・青年団は、いつの時代も若い年代で集まり、コミュニケーションをとり、少年たちの教育やイベントの共通体験を通して、心身を成長させる場となりました。

今年発足した「東海村青年会ことり」の活動も楽しみです。



▲東海村青年会詳細はこちら